

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会
2009年度第3回常任幹事会議事要録

日時：2010年3月12日（金）14時15分～16時45分

場所：名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館

出席：愛知淑徳大学（武藤 まり子），中京大学（中河原 省三，渡辺 英二）

豊田工業大学（保富 洋子），同朋学園大学（角田 久子）

豊橋創造大学（中島 慶子），南山大学（栗山 義久）

愛知大学（近藤 修二，中村 直美），愛知学院大学（足立 祐輔）

金城学院大学（鈴木 卓美），名城大学（中山 秀治）

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（岸 恭一，塩見 治人，守田 正江，八鳥 麻子）

オブザーバー：中部大学（蓑島 智子）

敬称略

議事に先立ち、理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館長（岸）の挨拶があった。なお議事進行は理事校（岸）が担当し、下記の議題を協議した。

[報告事項]

1. 私立大学図書館協会関係、西地区部会関係

(1) 第3回西地区部会役員会

理事校名古屋外国語大学・名古屋学芸大学（守田）より資料（p. 1～6）に基づき第3回西地区部会役員会について報告がなされた後、2010年度研究会について当番校金城学院大学（鈴木）より詳細な説明があった。

(2) 第2回東西合同役員会

1) 会務報告

理事校（守田）より資料（p. 7～34）に基づき第1回東西合同役員会以降の会務報告がなされた。

2) 協会賞審査委員会

協会賞審査委員会委員栗山（南山大学）より資料（p. 11～12）に基づき2009年度協会賞の審査結果が報告された。

3) 研究助成委員会

理事校（守田）より資料（p. 12）に基づき第3回委員会について報告がなされた。

4) 国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員代理近藤（愛知大学）より資料（p. 12～13）に基づき海外派遣研修、寄贈資料搬送事業、国際図書館協力シンポジウム、国際図書館協力基金、海外認定研修（仮称）、海外集合研修等について報告がなされた。

5) 協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員渡辺（中京大学）より資料（p. 13～14）に基づきホームページの更新状況、サイトポリシーとリンク登録手続き、掲示板の運用について、メーリングリストの添付ファイルの制限等について報告がなされた。

[協議事項]

1. 2009年度東海地区協議会事業報告および中間決算（案）について

理事校（守田）より資料（p. 35～40）に基づき、総会、常任幹事会等の事業報告、および2009年度決算（案）について説明が行われ承認された。

2. 2009年度東海地区協議会研究会活動報告および決算（案）について

研究会運営委員会委員長校中京大学（中河原）より、資料（p. 41～46）に基づき、運営委員会、担当者会議、研究会、海外出版社合同勉強会、見学会等の報告、および2009年度決算（案）について説明が行われ承認された。

3. 2009年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議活動報告および決算（案）について

理事校（守田）より資料（p. 47～48）に基づき、運営委員会、図書館管理運営実務責任者会議の報告、および2009年度決算（案）について説明が行われ承認された。

4. 2010年度東海地区協議会総会（案）について

理事校（守田）より資料（p. 49）に基づき、2010年度の総会を5月28日（金）に行うと説明があり承認された。

5. 2010年度東海地区協議会予算（案）について

理事校（守田）より資料（p. 50）に基づき説明が行われた。収入の部における加盟会費の差異は加盟校学生数の変動によるものであり、館灯広告掲載費は2009年度の掲載業者減少による決算額を反映させ、雑費については前年の利息を反映させた。支出の部においては、図書館実務担当者研修会開催年のため、研究会支援費を増額していると説明があり、承認された。

6. 2010年度東海地区協議会研究会事業計画および予算（案）について

研究会運営委員会委員長校中京大学（中河原）より資料（p. 51～52）に基づき2010年度の事業計画および予算案について説明があり承認された。

7. 2010年度東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議事業計画および予算（案）について

理事校（守田）より資料（p.53）に基づき2010年度の事業計画および予算案について説明があり承認された。

8. 2010年度東海地区協議会役員校および委員校について

理事校（守田）より資料（p.54）に基づき説明があった。金城学院大学（鈴木）より、事情により研究会の運営委員を辞退したいと申し出があり了承された。

9. 2010年度以降の理事校、役員校、当番校について

理事校（岸）より資料（p.55～56）に基づき説明があった。名城大学（中山）より会長校・部会長校の選出について理事校ローテーション表の運用原則の記載事項に関する指摘があった。常任幹事会に先立ち行われた学生数8,001名以上の大学による話し合いによって会長校・部会長校ローテーションが定められた。そのため理事校ローテーション表の運用原則の記載事項の変更が必要となった。会長校・部会長校ローテーション対象の大学と理事校ローテーションの関係、学生数の増加で8,001名以上になった大学の取り扱い等について意見交換がなされ、2017～2018年度の会長校を名城大学にお願いすることが承認された。ローテーション表については、運用原則の記載事項等修正したものを理事校が再作成し常任幹事校の了解を取ることとなった。

10. 東海地区協議会ウェブサイト運用に係る申し合せ（改正案）について

研究会運営委員校ウェブサイト担当金城学院大学（鈴木）より資料（p.57～60）に基づき説明があり承認された。

[その他]

2. 2010年度東海地区協議会および関連団体行事予定表について

理事校（守田）より資料（p.61）に基づき2010年度の行事予定について報告があった。